

人と音を結び
Classic Nagoya
クラシック名古屋
〒460-0024
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが橋1F
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330
<http://clanago.com>
プレイガイド
アイチケット
☎0570-00-5310

ナゴヤ劇場ジャーナル
◆発行/マネージメント・プロ ◆編集/プランニングオフィス白壁 ◆協賛/クラシック名古屋

MP MANAGEMENT PRO
①舞台イベントの企画制作・マネージメント
②芸術コンサルティング
③タレントのマネージメント
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行
株式会社 マネージメント・プロ
〒461-0004 名古屋市中区葵2-11-22 アバンテージュビル301
TEL: 052-508-5095 FAX: 052-508-5097
E-mail: mane-pro@mane-pro.com
HP: <http://www.mane-pro.com>

名古屋市民芸術祭賞

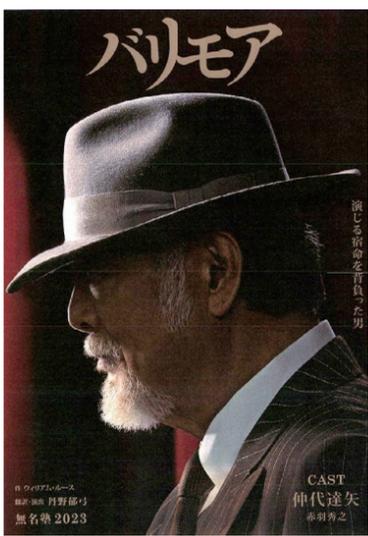
名古屋市芸術賞



八代 将弥
竹本 知子
近野 賢一
高木 俊彰
塚本 洋子
石原 弘恵
庄司 達
野村 峰山
石川 馨栄子
加藤 洋輝

**名演創立70周年記念公演
名優・仲代達矢が演じる
ひとり芝居「バリモア」**
4月4、5日 芸術創造センター

日本を代表する名優・仲代達矢(無名塾主宰、90歳)が来名。名古屋演劇鑑賞会創立70周年記念公演として4月4日(午後7時)、5日(午後2時)芸術創造センターで「バリモア」(作ウィリアム・ルース、翻訳・演出 丹野郁弓)を上演する。



バリモアとは、かつての二枚目俳優ジョン・バリモア(米国・1882~1942年)の物語。舞台、映画で活躍し、兄のライオネル、姉のエセルとともに「バリモア三兄弟」として脚光を浴びたが、私生活では4度の結婚に失敗、酒浸りの生活がた

たり60歳でこの世を去っている。物語は1942年、ニューヨーク劇場の劇場。人気俳優バリモアは、当り役だったシェイクスピアの「リチャード三世」の再演で、再起への準備を進めている。しかし往年の気力、体力は損な

第4期受講生募集
クラシック音楽の若手演奏家が、セルフプロデュース力の向上を目指すプログラム!

4th Season
STAR CLASSICS
スター・クラシック・アカデミア
Academia

募集期間: 1月5日(木)~4月14日(金)

演奏家として輝くために
~「発掘・育成・支援」の継続的なトータルサポート~

応募に関するお問い合わせ
スター・クラシック・アカデミア応募受付係
〒461-0004 名古屋市中区葵三丁目15番31号千種第2ビル2階
(株)メニコンビジネスアシスト内 TEL:052-938-5557(平日10:00~18:00)
メール info@star-cla.jp ウェブ <https://star-cla.jp>

野村峰山 名古屋市のらのご褒美(賞)は初めて。芸の道は果てしなく続くより坂と言われま

野村峰山 名古屋市のらのご褒美(賞)は初めて。芸の道は果てしなく続くより坂と言われま

DRESS SHOP/アンスクレール/Enclair
〒465-0025 名古屋市中区上社1-506-1F
☎(052)739-6155 OPEN11:00-19:00
定休日:月曜 ※水曜日のみ営業時間は11:00-17:00です

2022年度の名古屋市芸術賞、市民芸術祭賞の授賞式が2月7日、名古屋市公館で行われた。受賞者は次の5人と5組(文中敬称略)。

表現に取り組んできました。受賞を励みとして、もうひと踏ん張りしようと思えます。

野村峰山に芸術特別栄誉賞

「竹本知子 筆リサイタル2022」。

芸術祭特別賞は「高木俊彰チェロリサイタル」(音楽部門)、16号室唯我独尊「THE BEE」(演劇部門)、塚本洋子テアトル・ド・パレエカンパニー「ドン・キホーテ」。

近野賢一 コロナによって3年間苦戦を強いられてきました。それだけに受賞はうれしい。今後もライフワークである

ドイツ歌曲にまい進していきたい。

竹本知子 筆を始め、30年、初のリサイタルでした。3児の母である私が活動できるのは、家族の理解の賜物です。

高木俊彰 チェロ奏者の受賞は16年ぶりとか。ピアニストの桑野郁子さんが主宰する室内楽グループでの活動が、受賞につながったと思います。

八代将弥(16号室唯我独尊) スタッフに支え

られ90分の一人舞台を演じ、出演できました。演劇は誰のためにあるのか、を模索しながら、今後も他力本願で(笑い)頑張ります。

塚本洋子(テアトル・ド・パレエカンパニー) 今回は2022年に亡くなった芸術監督・深川秀夫振付の「ドン・キホーテ」が評価されました。この場にヒデオがいなかったら悲しんでしまいます。ヒデオに感謝です。プラボー!

後にも精進あるのみです。庄司達 50年以上にわたって、布を使った空間

われ、落胆したバリモアは静かに人生を振り返る。

舞台上に登場するのは仲代一人、声だけの出演は赤羽秀之。初演は2014年、翌15年に再演され、仲代の新たな代表作として好評を博した。「リチャード三世」のドラマが老いたバリモアにオーバラップし、さらにバリモアに仲代が重なる。90歳の仲代が、自らの役者人生を賭け演じる、演劇ファン必見の舞台である。

「聞き手・竹本真哉」

作詞家、歌手として充実の日々

岩佐麻紀(Mikey)

シャンソンの扉

169 岩佐 麻紀

水樹奈々、NEWS、クリス・ハートなど多彩なアーティストに歌詞を提供している作詞家・岩佐麻紀。作詞する際のもう一つの意義 Mikey(マイキー)では、歌手としても活動している。

小さい頃から歌うことと詩を書くことが好きだった。学生時代に、日記のように書き続けて溜まった詩を、ネットに上げてみると「癒やされた、勇気づけられた」という反響が返ってきた。「詩で誰かの役に立てるかもしれない」と考え、作詞家を目指した」と振り返る。社会人の傍ら、作家事務所に所属。作詞のコンペに応募した曲の数々は、数年で様々なミュージシャンの歌声になっていった。

作詞の他、歌、イラスト、動画など活動は多彩だ。「物語を作りたい」という気持ちだが、詩や歌、イラストなど表現の形を変えて出てくる。歌うことは好きなので、ひたすら楽しんでる。今年もライブ活動をもっと増やしたい」と話す。

シャンソンに興味を持ったのは、あるイベントで聴いた「ガスの検針でーすー」(Le Gaz)という歌。「主婦のいる部屋のドアを叩く客の話で歌詞に衝撃を受けた。シャンソンは響きが柔らかくて、優しい感じがするが、歌詞が独特で奥深い」と語る。今までPOPやタイポグラフィの訳詞をしてきたが「シャンソンの詩や訳詞も挑戦したい」と思いは広がっている。

レオタードのご購入 送料 無料

1枚からでも大丈夫

Danskate Danza Wear Net Gajiko

住所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目11-23
白田本町ビル5F (大橋商店の上です)
電話番号 052-265-7900
パソコン・スマホからの注文は <https://danskate.com>

愛知室内オーケストラ

坂入健司郎の指揮で、山本直人がオーボエ協奏曲を演奏。しかもコンマ...

坂入、山本、石上らで新作を初演



オーボエ協奏曲(撮影・中川幸作)

オーボエ協奏曲は、東京藝大大学院(作曲専攻)出身で、数々の音楽賞に輝く山内雅弘の新作初演。調性のない現代音楽で、美しい旋律を奏しむ...

他の楽器も同様で、ホルン奏者がマウスピースの吹き口部分を手でたたくなど、それぞれが極めてアクティブな演奏を繰り広げた。すべて楽譜に記載された演奏法だとした。

古典の名作に新たな生命力注ぐ

BALLET・NEXT

日・刈谷市総合文化センター「Swan Lake」(1月22)



「Swan Lake」(撮影・和光写真/杉原一馬)

出・振付は鬼才、市川透。冒険しながらも原典版から大きく踏み外すことのない市川マジックに惚れたダンサーたちも汗を光らせて美と技を競い、深遠な愛を甘美かつ強靱に...

「死後の世界を旅する白鳥と王子」を題材にした小説の執筆中に最愛の恋人を亡くして自責の念に苛まれる青年の現実世界と、バレエの代名詞とも言える人気作品「白鳥の湖」の幻想世界を交錯させた物語だ。現代人の感性と共振する心理描写や演劇性がダイナミックに弾む。清浄な魂の白鳥と邪悪な心の黒鳥を一緒に踊らせて人間の光と影、表裏一体性を象徴したのが興味に富み、悪魔ロケットバルトがミュージカル「エリザベット」の黄泉の帝王...



「雨の女、土の声」

感動覚えた石川雅実の創作群舞

現代舞踊協会中部支部

Mother Earth(1月28、29日・千種文化小劇場)

バレエ王国名古屋の健在ぶりを証明して客席を沸かせ、今年の当地バレエである。

工公演への期待を大きく膨らませる舞台だったのだから、今年もこの創作群舞は、現代舞踊の面白さと多面性を実感した。

圧巻だったのは石川雅実ダンス・カンパニーの「雨の女、土の声」だ。石川は水をイメージした水色の衣装。共演の10人は大地を連想させる茶系の衣装。髪の色まで同色で...

舞台批評

藤原歌劇団「トスカ」

毎年楽しみにしている藤原歌劇団の愛知公演「トスカ」(2月4日・愛知芸術劇場大ホール)を見た。日本を代表するオペラ集団、まるでイタリアのオペラを見るような迫力と臨場感があった。タイトルロールは小林厚子、相手役カヴァラドッシは澤崎一了、敵役スカルピアは歌劇団総監督の折江忠道が演じた。指揮は鈴木恵里奈、演出は松本重孝、管弦楽はセントラル愛知交響楽団が務めた。

まずは重厚な舞台美術に圧倒された。1幕だけでなく、2幕、3幕にもそれぞれ立派な舞台が設けられた。指揮者・鈴木恵里奈の懇切丁寧なリードも秀逸だった。鈴木は長身で、2階席の私の席からは(背面からではあるが)彼女の指揮がよく見えた。歌手に寄り添い、まるで自分が歌っているような、心を込めたコンサートだった。

鈴木の名指揮にリスト奮起し



「トスカ」(提供・愛知県芸術劇場)

カルピアの葛藤、そしてスカルピアの死。両者の情感がブッチーニの音楽となり、フォルテッシモで炸裂。カヴァラドッシを演じた澤崎のハイトーンに痺れた。

折江は、好色で極悪非道とされるスカルピアを紳士的に演じた。また彼を刺し殺した後、遺体の脇に燭台を灯し、胸に十字架を置いたトスカにも救いがあつた。ラストシーン、アンジェロ城バルコニーから身を投げたトスカの姿が、歌舞伎の名場面(義経十本桜平知盛の最期)にたぶつた。

活動75周年、磐田市歌で大団円

「御誦」オラショ



続いて静岡県と中国浙江省友好提携40周年を記念した「夢舞姫」を披露。こちらは佐藤典子舞踊団の9人が出演。中国からは浙江芸術職業学院の生徒らが映像で参加した。

佐藤典子記念公演

静岡を拠点に活動する佐藤典子が、舞踊生活75周年公演「ここに生きろ」道」を開催した(22年12月18日・磐田市民文化会館)。

舞台は祝舞「SANB ASO(三番叟)」で開幕。

プロの力借り格段ランクアップ



シャンソン歌手RUN

アマチュアが、プロの力を借りて優れた公演

「ふるさと いわた」は磐田市歌が流れる中、春を思わせる明るい大群舞で幕を降ろした。

「夢舞姫」を披露した。こちらは佐藤典子舞踊団の9人が出演。中国からは浙江芸術職業学院の生徒らが映像で参加した。

「ふるさと いわた」は磐田市歌が流れる中、春を思わせる明るい大群舞で幕を降ろした。RUNの歌を聴くのは初めてだったが、地声が強く、音程も正確。高音に難点はあるものの、口舌も明確で表現力は豊か。志乃舞の門下生で、ダンス、タップも、それなりに見せることのできるレベルの高いアマチュア。第1部、志乃舞と共演した「ジュリエット」は片桐のピアノで歌った「帰りに来ぬ青春」は圧巻だった。二人がRUNの力を引き上げ、エンターテインメントを芸術の域まで高めた瞬間だった。第2部では片桐ら8人編成のジャズバンド、8人のダンサーに、サクソフォン奏者の鈴木学が加わった。何ともゴーシャスなステージだった。

私たちは「ナゴヤ劇場ジャーナル」を応援します

- 高山 皆江 小野由加利 玉田 弘子 秋田昌子 加藤 静子 つつみあつき 浅井 亮子 金澤 志保 手塚 淑子 荒川 洋子 蟹江 尾八 戸田美江子 飯田みち代 北村 哲也 中川 幸作 出田 光代 黒沢 優子 仲条 優理 伊藤 修 工藤寿々弥 夏目 久子 伊藤 敬 佐藤 典子 名鶴ひとみ 伊藤 直樹 佐藤美智子 西川 長秀 稲垣 舞比 佐野 和美 野々山保治 斎 干龍 澤脇 達晴 野村 祐子 今村 早如 清水 房子 服部 節子 植村麻衣子 白樺 八音 花柳 節優 内田 寿菊 すきこしほ 林 雅仁 内田 寿千代 杉江 瑞美 福井 啓子 内田 寿晴 鈴木 幾子 淵本晴都子 内田 寿哉 鈴木久美子 松波千津子 内田のり翠 鈴木 文雄 松本 道子 内田のり美 角田真優美 宮西 紀子 大寺 資二 高倉 麻耶 山口 雅子 岡田 一男 高橋はじめ 吉田 尚弘 岡田 純奈 武市 孝三 よしみゆこ 岡崎 保彦 竹元まき子 渡部 千枝 小倉ひろこ 田淵友佳理 ほか

会員募集

「ナゴヤ劇場ジャーナル」では発行を支援いただけるサポート会員を募集しています。会費は年間6,600円(税込のみ)。会員には小紙を毎月お届けするほか、紙面にお名前を掲載(希望者のみ)。会員

和光写真/楠テス・大阪/鶴三光/Hide Dance Lab./楠ビデオ教材社/松岡伶子バレエ団 NORIKO BALLET STUDIO/かやの木芸術舞踊学園/春日井市日本舞踊協会/メリー・アーティスツ・カンパニー 特定非営利活動法人日本室内楽アカデミー 理事長 佐々木伊利子/Office KAN/ミュージカルアカデミー-KAO フィルハーモニーカー・ウィーン/名古屋/明珠会 山村栄乃/川島ナナバレエ研究所/スマイル・ミュージカル・アカデミー Rose Ballet Academy/越智インターナショナルバレエ/Rrバレエスタジオ 杉江瑞美/一般社団法人イタリア音楽振興会

小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト
G.プッチーニ「歌劇『ラ・ボヘム』」
G. Puccini: La Bohème
2023.3.26(土) 14:00開演 愛知県芸術劇場 大ホール

羽田丈史
image la plume 2023
2023年 4月7日(日) 13:00開演
愛知県文化会館 サ・コンサートホール

マスターズ・プラス
ナゴヤ
第7回 定期演奏会
Master Plus Nagoya
7th Annual concert
2023年 4.22(土) 15:30開演
愛知県芸術劇場コンサートホール

リン松谷阿咲、ヴィオラ石橋直子、チェロのアイリス・レゲヴが、ピアノ戸谷誠子を迎え、後期ロマン派のピアノ四重奏曲



弦楽トリオ「ストラダ」の3回目(2月5日、アークサロンホール)。名フィル団員のヴァイオ

ブラームスの傑作、名演奏で魅了
「冒頭のマーラー」「ピアノで魅了した」

都響 音楽監督 大野和士
名古屋特別公演
東京都交響楽団
TMSO
Special Concert in Nagoya
指揮/大野和士 Kazushi ONO, Conductor
マーラー: 交響曲第7番 ホ短調
Mahler: Symphony No.7 in E minor
2023 4/15(土) 16:00開演(15:00開場/17:40終演予定)
愛知県芸術劇場コンサートホール
Sat. 15, April 2023 16:00 at Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall
TICKET (全席指定+税込) プラチナ ¥8,000 S ¥6,500 A ¥5,000 B ¥3,500
一般発売 12/16(金) 10:00(名フィル・チケットガイドは12月19日(月)~) 先行受付開始 都響会員/都響ガイドのみ 12/9(金) 10:00
各種割引(詳細はこちら)
U25割引 50%OFF(1998年4月1日以前生まれ対象) ※都響ガイドのみ 都響会員割引 10%OFF ※都響ガイドのみ
名フィル会員割引 10%OFF ※名フィル・チケットガイドのみ 名フィル・チケットガイド ¥6,000 ※アイ・チケットのみ
ご予約・お問合せ
アイ・チケット 0570-00-5310(11:00~16:00 土日祝休) ●名フィル・チケットガイド 052-339-5666(平日9:00~17:30)
https://clanago.com/i-ticket (※別途送料) https://www.nagoya-phil.or.jp
都響ガイド 0570-056-057 ●芸文プレイガイド 052-972-0430(10:00~19:00 土日祝は18:00)
https://www.tmso.or.jp/ https://pia.jp/ ●チケットぴあ https://pia.jp/
都響WEB https://www.tmso.or.jp/ ●ローソンチケット https://l-tike.com/ ●e-plus https://eplus.jp/

三好孝市の「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ナタ全曲演奏会」の第2回(1月7日・HITOMIホール)。ピアノ本多万祐子と「第4番」「第5番・春に」「ロマン」2曲で、充実した内容だった。不安で緊迫感ある4番と「スプリング・ソナタ」と親しまれ、明るく華やかな5番。同時期に作曲されたが対照的な2曲

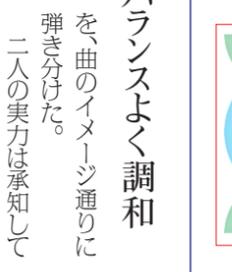


三好孝市と本多万祐子(ピアノ) また「ロマン」第1番「第2番」を続けて聴く機会は少ない。特に2番は美しいメロディーが印象的でお得感があった。



30日・HITOMIホール。ファゴットのソロを聴く珍しさに加え、楽しませる工夫があった。

ピアノの本多とバランスよく調和を、曲のイメージ通りに弾き分けた。二人の実力は承知して



いたが、予期しない組み合わせで興味深い。感情表現が豊かな三好、正統派で安定感のある本多が、渡り合ったり調和したり、バランスよくまとまった。

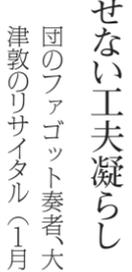


後半は、箱型の打楽器カホンと合わせ、最後の「ナイロビの夜」では、加藤が多彩な楽器を駆使、視覚的にも楽しませた。親しみやすい選曲と豊富なアイディアで聴かせる、サイピス精神に感心した。

「三好孝市の「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ナタ全曲演奏会」の第2回(1月7日・HITOMIホール)。ピアノ本多万祐子と「第4番」「第5番・春に」「ロマン」2曲で、充実した内容だった。不安で緊迫感ある4番と「スプリング・ソナタ」と親しまれ、明るく華やかな5番。同時期に作曲されたが対照的な2曲



「三好孝市の「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ナタ全曲演奏会」の第2回(1月7日・HITOMIホール)。ピアノ本多万祐子と「第4番」「第5番・春に」「ロマン」2曲で、充実した内容だった。不安で緊迫感ある4番と「スプリング・ソナタ」と親しまれ、明るく華やかな5番。同時期に作曲されたが対照的な2曲



「三好孝市の「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ナタ全曲演奏会」の第2回(1月7日・HITOMIホール)。ピアノ本多万祐子と「第4番」「第5番・春に」「ロマン」2曲で、充実した内容だった。不安で緊迫感ある4番と「スプリング・ソナタ」と親しまれ、明るく華やかな5番。同時期に作曲されたが対照的な2曲

「祝祭行進曲は、小品ながら、まさにサロン音楽で親しみやすい。後に作曲した壮大な交響詩と

は、若い情熱や苦悩が感じられる傑作。特に後半の緊迫した高揚感を見

事に出した。旬の実力者がそろっての名演奏だった。

テレマン以外はクラシックファンでも知らない作曲家が並んだが、ソロからピアノ小宮尚子との夫婦デュオ、さらにパーカッション加藤史也との共演で、まったく飽きさせない。

香港中樂團
2023 JAPAN 閣惠昌と香港中樂團
2023/4/6(木) 19:00開演(18:30開場)
愛知県芸術劇場コンサートホール
料金(税込)全席指定 ¥4,000 A ¥3,000 B ¥2,000 C ¥1,000
主催:クラシック名古屋/LEGARE
プレイガイド
アイ・チケット 0570-00-5310
チケットぴあ https://pia.jp/ (コード:226-411)
ローソンチケット https://l-tike.com/ (コード:43651)
e-plus https://eplus.jp/ (コード:226-411)
名フィル・チケットガイド 052-972-0430
名フィル・チケットセンター 052-561-7755
名フィル・チケット92 052-953-0777
お問い合わせ クラシック名古屋 052-678-5310

House ハウス食品グループ
ファミリーコンサート
2023.4.30(日) 愛知県芸術劇場 コンサートホール
開場 13:00 開演 13:45
チケット 5席 3,000円 A席 2,000円 B席 1,000円
特別価格: 1席 1,000円 (10:00~18:00 全席埋まり)
主催: 東海テレビ放送/ZOOM 協賛: 中部フィルハーモニー交響楽団/クラシック名古屋

東海テレビ開局65周年記念
第27回 スーパークラシックコンサート
愛知県芸術劇場コンサートホール
5公演同日席 スーパーシート 86,000円(全席指定+税込) 72,000円(全席指定+税込)
5.27(土) 14:00開演
ヴァシリー・ペトロニコ指揮
ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団
5.29(月) 18:45開演
ストラヴィンスキー・ザミット・コンサート
10.21(土) 14:00開演
クラウス・マケラ指揮
オスロ・フィルハーモニー管弦楽団
11.24(金) 18:45開演
フランクス・ピアノ協奏曲第1番
12.20(水) 18:45開演
佐渡裕指揮
シエナ・ウィンド・オーケストラ

奏でる人を聴きたい人へ 人と音をつ結ぶ
クラシック名古屋
052-678-5310
名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル1F

クラシックコンサートのチケットは
アイ・チケット 0570-00-5310
(11:00~16:00 土日祝休)
アイ・チケット web 検索
※お好きな時間にお好きな席を選んでクリック!!
スマホチケット[電子チケット]導入。(利用できない公演もあります)
カード決済・コンビニでのお支払いができます。

クラシック名古屋のプレイガイド
「アイ・チケット」
多くのクラシックコンサートのチケット販売から、ホール、座席のことでオペレーターが丁寧に対応いたします。
ホームページからもチケット購入ができる、便利なクラシック専門のプレイガイドです。